○パレスチナ難民のための国際連合救済事業機関との間の交換公文◎パレスチナ難民に対する食糧援助に関する日本国政府と近東におけるパ

(略称) 極国際連合救済事業機関とのパレスチナ難民に対する食糧援助取国際連合救済事業機関とのパレスチナ難民に対する食糧援助取

t沢の報告 ····································		è措置 ····································		)援助の履行									
											平成	平成	平成
											三年	三年	三年
											八月	七月	七月
											十二日	九日	九日
										(外務省	告示	効力発生	ウィーンで
二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八七〇	二八六九	二八六九	二八六九	ページ		外務省告示第四二三号)		光生	-ンで

日本側書簡

目

次

1

3 2

> 払込みの方法 贈与の供与

4

贈与の対象・ 日本国政府の

機関側のとる

機関側書簡

7 6 5

取極の実施状況

協議

方法 みの

業 と

日 本 側 書 簡

訳

する協議に言及するとともに、 の す に め 関連 間で最近行 る次の取極を提案する光栄を有します。 の 政府」という。)の代表者と近東におけるパレ 書簡 国 して政 際連合 を もって啓上いたします。 救済 府が機関を通じて供与する意 われたパレスチナ難民に対する食糧援 事業機関(以下「機 千九百八十六年 本使は、 関」という。)の代表者と 向を 日本国政府 · の 食 有 スチナ難民 する援 (糧援 助 計 し助に関いり 画に関 **(**以 のた 下

1 000, 政 の府は、 〇〇〇円)を贈与の 日本国の関係法令に従い、 形で機関の使用に供 十億円 (1,000, いする。

2 ない 額は、 月三十一日まで いる機 政府 限 政府 は、 関 の この 勘 の 日本国 関係 定 の期 取 に、1 当局 極 の外国為 が効力 間 中に と機 に定 関と める 払 を生ずる日から千九百 替公認銀 い込まれ の 額を日本円で払 間 行の東京店に の る。 合 意に よっ い て延 込む。この 九十二年三 開設さ 長 され れて

(Japanese Note)

Vienna, July 9, 1991

Excellency,

extend through the UNRWA in connection with of the Government of Japan (hereinafter the assistance which the Government intends refugees and have further the honour to to the food aid programme for the Palestine after referred to as "the UNRWA") in relation Palestine Refugees in the Near East (hereinreferred to as "the Government") and of the discussions held between the representatives the Food Aid Convention, 1986: propose the following arrangements concerning United Nations Relief and Works Agency for the I have the honour to refer to the recent

grant. billion yen (\text{\text{\$\frac{1}{2}},000,000,000}) in the form of and regulations of Japan, the amount of one UNRWA, in accordance with the relevant laws 1. The Government shall make available to the

amount referred to in paragraph 1 in Japanese yen to the UNRWA Account opened in the Tokyo force of the present arrangements and March office of an authorized foreign exchange bank mutual agreement between the authority 31, 1992, unless the period is extended by the period between the date of coming into The Government shall make a payment of the This amount shall be paid during

国際連合救済事業機関とのパレスチナ難民に対する食糧援助取極

援 払 助を 込 政 みを行 府 は、 実 施 2 し つ た の た 規 بح 時 みな にそ 定に さ の 従 払込み って払 ħ る。 の 込みを行うことに 金 一額ま でこ の 取 極 ょ ŋ に 基 そ づ < の

国際連合救済事業機関とのパレスチナ難民に対する食糧援助取

極

- (1) 含 の 購 む。こに 1 入及びこ に 定 使用 め る さ の購入に 総 n 額 る。 は、 関 米 連す 玉 産 る費用 小 麦 か (輸 ら製 送費 粉 及び され 保 た 小 険 料 麦 粉 を
- (2)億 び 待され 円 保 米 険 国 船積みさ (七00 る。 料 産 を考慮 小 麦 か n ら製 00 して、 パ Ŏ 粉 レスチナ難 米国 さ 0 n 産 た小 ) 〇円) 小 民に引き渡 麦から製粉 麦 粉 相 の 当の 現 在 され さ 小 の n 麦 価 ること 粉 た最 格 が 購 小 運 入さ 賃及 限 から 期 七
- (3)め 機関 機 は、 関 の 財 (2)務規則 に い う に従 小 麦 い供 粉 の 購 給者と契約を締結 入並 び に輸 送及 す U る。 保険 の た
- 5 や をとる。 か 機 にパ 関 は、 レ スチ 4 の ナ 規 難 定 民 に に 従って購 引き 渡 入し すために必要 た小 麦 粉 なす をで ベ きる限 て の 措 り速 置

とる措置 機関側の

協

議

- 6 に ら又はこれ 協 政 議 府 する。 及 び に 機 関 関 は 連 U て い 生ず ず れ る か い 方の かなる事 要請 項 に に ょ ŋ つ い こ て ę, の 取 相 極 互 か
- 7 (1) を 政 関 府 は、 に通 報 供 する。 紿 者と 契約 を 締 結 した後、 遅 滞 な < 次 の 事 項

報施極 告 状極の 変

(a) 機 関 が 契約 に 従 つ て 支払 う総

> concerned of the Government and the

二八七〇

- preceding paragraph, the Government shall be deemed to have made the assistance under the amount of such payment. present arrangements to 3. By and upon making the payment under the the Government shall be the extent of the
- paragraph l above shall be used for the purchase of the flour milled from American premium. wheat and for the expenditures related to such purchases, including freight and insurance (1) The total amount referred to
- million yen (¥700,000,000) of the flour milled expected that a minimum of seven hundred and delivered from American of the flour milled from American wheat, freight rates and insurance premium, it is Taking into account the current price wheat will be purchased, shipped to the Palestine refugees.
- shipping and insurance in accordance with the referred to in sub-paragraph (2) and for the with suppliers for the purchase of the flour UNRWA's financial rules. (3) The UNRWA shall enter into contracts
- measures to deliver as soon as possible the 5. The UNRWA shall take all flour purchased under the preceding paragraph to the Palestine refugees the necessary
- connection with them, on any matter with each other, at the request of either of 6. The Government and the UNRWA shall consult the present arrangements. that may arise from or
- contracts with suppliers, it shall Government, without delay, of the 7. (1) When the UNRWA has entered into following:
- UNRWA under the contract; Total amount of payments to be made by

- (g) (f) (e) (d) (c) (b) 購 入し た小 ·麦粉 の 総額
  - 小 小 麦 粉 の 数 量 及 び 品 質

麦粉

の

F

0

В

単

価

- 輸送費
- 1、険料
- 給者の 名
- 船 積 みの 予定日 及び 配布 地 ^ の 到 着 の予定日
- (2)る。 これらの 船 積 み、 日 付 荷 並 掦 び げ に小 及 び 麦 配 粉 布 の 地 数 ^ の 量及び品 到 着 の 質を政 たび に、 府 に 機 関 通 報 は す
- (3)に 小麦 機関 は、 粉 の 配 最 初 布 の に 関す 積 荷が配布地 、る報 告書を政 に到 府に 着した後、三箇月ごと 提 出する。
- (4)お し た後、 機関 ける写真を付 は、 配 布 この取 に 関する し て、 極に従って購入し 最終報告書を、 政府に提 出する。 た小 で き 麦 る 粉 限り配布 の 配 布 が 地 完了 に
- (5)麦粉の 機関 袋に は、 付 小 麦粉 すことを確保する。 から 日 本国により贈 与さ n た旨 の 標 示 を 小

栄を有 合 返 意が閣下の 簡が政府と 本使 んは、 ま 更に、 す 返 機 簡 関 こ ٤ の 日 の の 付 間 書 の 簡 の 及び前 日 合 意を構成するも に 効 記の取 力を生ずることを提 極 を 確認 の とみ さ な ħ 案 る U す 閣 る そ 下 光 の の

本使 は、 以 上 を 申 L 進 め る に 際 し、 ここに 閣下 に 向 か っ て 敬

- (d Total value of the flour purchased;
- <u>(C</u> Quantity and quality of the flour;
- (d) Unit F.O.B. price of the flour;
- (e) Freight costs;
- (f) Insurance premium;
- Names of the suppliers; and

(g)

- arrival at distribution sites. (d) Expected dates of shipment to and
- ship or unloaded therefrom or arrives at the distribution sites, the UNRWA shall inform the condition of the flour. Government of the date and the quantity and (2) Each time a shipment is loaded aboard After the arrival of the first shipment the UNRWA shall Ω
- at the distribution sites, distribution of the flour every three months. submit to the Government a report on the
- of the flour purchased under the present arrangements, the UNRWA shall provide for the if possible together with photographs taken at Government a final report on the distribution, the distribution sites. (4) Upon the completion of the distribution
- been donated by Japan. the flour bags bear indicate the flour has (5) The UNRWA shall ensure that markings

Excellency's reply. shall enter into force on the date of Your between the Government and the UNRWA, shall be regarded as constituting an agreement reply confirming the foregoing arrangements the present Note and Your Excellency's I have further the honour to propose which that

highest consideration. Accept, Excellency, the assurances of mУ

意を表します。

千九百九十一年七月九日にウィーンで

日本国特命全権大使 遠藤哲也ウィーン国際機関日本政府代表部駐在

(Signed) Tetsuya Endo Permanent Representative of Japan

事務局長 イルター・トルクメン殿国際連合救済事業機関

to the International Organizations in Vienna

Mr. Ilter Türkmen
Commissioner-General
The United Nations Relief
and Works Agency for
Palestine Refugees

in the Near East

(訳文)

の 書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもって啓上いたします。 本官は、 本日付けの閣下の次

日 本 側 書 簡)

ず す 下 合 ることに同 るものとみなし、 の書簡及びこの 救済事業機関に代わって前 本官 は、 更 に、 意する光栄を有します。 返簡 近 東に その合意がこの返 が機関と日本国 おける 記 の パレスチナ難民 取極を確認するとともに、 簡 政 府 の 日付 بح の の 間 のための B の に 合意を構成 効力を生 国際 閣連

を表します。 本官は、 以上 を申 し進めるに際し、 ここに閣下に向かっ て敬

千九百九十一年七月九日にウィーンで

意

国際連合救済事業機関 近東におけるパレスチナ難民のための

事務局長 イルター・トルクメン

(The UNRWA's Note)

機関側書簡)

Vienna, July 9, 1991

Excellency,

receipt of Your Excellency's Note of today's date which reads as follows: I have the honour to acknowledge the

(Japanese Note)"

of Japan, which shall enter into force on the date of this reply. reply shall be regarded as constituting an to agree that Your Excellency's Note and this the Palestine Refugees in the Near East, and United Nations Relief and Works Agency for the foregoing arrangements on behalf of the I have further the honour to confirm

highest consideration. Accept, Excellency, the assurances of my

(Signed) The United Nations Relief and Works Agency for Commissioner-General Palestine Refugees Ilter Türkmen in the Near East

日本国特命全権大使 遠藤哲也閣下ウィーン国際機関日本政府代表部駐在

His Excellency
Mr. Tetsuya Endo
Permanent Representative
of Japan to the International
Organizations in Vienna

## (参考)

ることを定めたものである。 小麦粉及びその海上輸送に必要な役務を購入するために、十億円を限度とする額を同機関に贈与す この取極は、我が国が近東におけるパレスチナ難民のための国際連合救済事業機関に対し米国産